

謝辞

本研究部会のメンバーをお願いしました東京大学藤野陽三教授、建設省土木研究所西川和廣室長には、タイムリーな話題提供を頂き厚く御礼申し上げます。連続合成桁の調査では、大旺建設三瀬専務取締役、大阪市建設局亀井主査に有益なご意見を頂きました。ありがとうございます。また、調査にご協力頂いた各社、各人に対し御礼申し上げます。合成斜張橋WGの活動にあたり、クリープ、乾燥収縮解析を快く引受けて頂いた埼玉大学奥井義昭助教授に厚く御礼申し上げます。お忙しい中、お手数おかけしました。ホロナイ川橋の見学でお世話になった日本道路公団室蘭工事事務所田中敏幸所長（当時）、札幌建設局高橋昭一課長代理に御礼申し上げます。とくに高橋さんの頑張りには脱帽です。一層のご活躍をお祈りします。川田工業（株）の皆さんにもお世話になりました。また、今回の田中賞受賞おめでとうございます。

メンバーの皆さんには、業務の忙しい中、積極的に参画頂きありがとうございます。私の能力不足で大変ご迷惑おかけしました。勉強になりました。また、楽しい時間を過ごすことができました。感謝です。この流れが大きな波（ビッグウェーブ）となるかは皆さんの努力にかかっています。頑張りましょう。

最後になりましたが、庶務会計を担当頂いた住友金属工業（株）の井澤さん、大日本コンサルタント（株）の平山さん、ご苦勞様でした。

本報告書が、今後の橋の合理化、省力化に何らかの形でお役に立つことを祈って終わりにします。